

(様式4)

事業所名 認知症高齢者グループホーム梨の木荘

目標達成計画

作成日: 平成 24年 4月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	一人一人の思い・希望・意向の把握に常に心掛けてはいるが、具体的に本人又、家族の声そのままに受け止めるために、もっと密にコンタクトを取る必要性を感じる。	思いや意向を、明確に介護計画に又、サービスに反映するようにしていく。	本人の意向を言葉にしてもらい、しっかり傾聴したり、御家族と計画に向けての話し合いをする機会を設けていく。	4ヶ月
2	26	本人本位の意向・家族の要望を基にケア会議で話し合い、介護計画に盛り込んでいるが、その時その時の変化に応じた計画としては、まだ不十分である。	利用者様のその時その時の変化に応じて、見直されていく計画を立てていく。	利用者様の変化に応じ柔軟に対応、ケア会議を開き、それを基に介護計画へつなげる。	4ヶ月
3	49	毎月の散歩や行事等の外出又、御家族との外出等、支援しているが、もっと外に出る機会を作りたい。	利用者様の心が開放出来得る外出の支援をする。	買い物にお付き合いをお願いしたり、日常的にドライブの機会を設ける。	3ヶ月
4	33	重度化・終末期に向けた支援について、現状より幅をもたせた対応が出来るようにしたい。	現状より充実させていく。	地域にある医療機関にお願いしにまわったりし、重度化・終末期にも対応出来るようにする。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成して下さい。